



くまむら



広報



月明かりのもと元気に綱引き

～中園地区と一勝地第一小学校3地区子供会～

今年は、10月3日が「中秋の名月」となり、お月さんが美しい姿を見せました。この日は、村内各地で「十五夜」の綱引きが行われました。

中園地区では、毎年行われていますが、昨年より3地区子供会が合同で行っています。この日も、子供会・保護者約30名が参加して、綱作りに挑戦しました。

保護者が地区住民の指導を受け、交代で「わら」をなっていました。作り上げた綱で子供たちは「ヨイショ・ヨイショ」と掛け声をあげながら、綱を引き「十五夜」の夜を過ごしました。



2009

10

OCTOBER

「待望の診療所が開所」

「無医地区の解消へ 神瀬地区巡回診療所」

十月一日、神瀬地区多目的集会施設で「神瀬地区巡回診療所」の開所式が行われ、柳詰恒雄村長、村議会議員、蘇春堂関係者や地元地区関係団体代表など約六〇人が出席しました。

神瀬地区は、昨年神瀬診療所の上田博章先生が亡くなられ、無医地区となっていたことから、村が県と一勝地診療所を運営している医療法人・蘇春堂と協議し、巡回診療所として開所することになりました。



待ちに待った診療所のテープカット

神瀬地区巡回診療所は毎週水曜日の午後一時三〇分から午後五時まで、球磨村診療所から橋口治医師と看護師が出向き診療します。

診療初日の十月七日は、待ちに待った開設に、神瀬地区住民の十七人が受診しました。

翌週には、地域住民の十三人が受診に訪れました。受診した女性は「待ちに待った診療所が立派にできてうれしい。今まで、バスや汽車で一勝地の診療所に通院していたのでこれから気軽に通院できます」と話しました。また、「この診療所が開所したことばかりつけ医を変えた」という方もおり、地域住民で開所を喜びました。



診 察 室



住民の信頼の厚い、橋口先生

この度、神瀬地区巡回診療所を開所いたしました。本村の高齢化率は、三七・八%と高齢化社会を迎えており、過疎化も進んでいるところです。このような状況の中で、私は村政の柱の一つとして「安心して快適な暮らしの環境づくり」を推進しております。

以前、一勝地地区において、十年間無医地区の期間がありました。平成十年に「球磨村診療所」を開設し、同時に神瀬地区にも診療所設置の要望もあり、建物を新築しました。しかし、その時点で、上田先生が診療活動中でしたので、閉院後に神瀬診療所を開設することで計画されました。

昨年、上田先生がお亡くなりになり、まさに無医地区となり、早急な診療所の開設が望まれるようになりました。そのようなことから人吉保健所のご指導をいただき、球磨村診療所を中心に蘇春堂さんとも協議を重ね、本年五月に見通しが立ったので開設準備を進めてきました。診療所の施設工事、医療機器・医療備品等すべての準備が整ったところで、九月末に医療法人蘇春堂理事長谷口スマ様と契約を結び、十月一日に開所式を行ったところです。

診療には、球磨村診療所から毎週水曜日の午後、村民の皆さんの信頼が厚い、橋口先生はじめ看護師の方が診療活動に來られることになります。

地区の方々の熱意がこの診療所開設になったと思います。心からお祝い申し上げます。

球磨村長 柳詰 恒雄



神瀬地区代表区長
日當 國弘さん

神瀬地区住民が待望していました診療所が、
柳詰村長始め、職員の方そして医療法人 蘇春
堂様のご尽力により、この度、開所しましたこ
とを地区民あげて大変喜んでいます。

10月1日に、来賓の方々、多数ご臨席して、
開所式が行われました。7日の診療初日には、
17名の方が受診に来られ、14日の2日目にも
13名の方の受診がありました。これまで、
遠くまで病院に通っておられた方など受診でき
ることを喜んでおられました。

将来、出来れば週2日の診療や福祉バスの運
行を診療日に併せていただければ、今以上に助
かると思います。

最後に、橋口先生や看護師の方々には大変お
世話になりますが、よろしくお願いいたします。



医療法人 蘇春堂 理事長
谷口 スマ 様

この度は、神瀬地区巡回診療所開設にあたり
まして巡回診療の重大な責務を担うことになり
ました医療法人蘇春堂を代表してご挨拶いたし
ます。

柳詰村長はじめ、地元村議会議員の皆様や区
長さん、特に神瀬地域の方々の強い熱意により
まして、県や人吉保健所のご指導を仰ぎ開所を
迎えることが出来ました。

これからは、橋口院長並びに職員一同、地域
福祉優先の初心を貫いて、地域の皆様、神瀬地
区の方々の命と暮らしを守る崇高な責務を果た
すことをお約束してご挨拶いたします。



球磨村診療所
橋口 治 医師

球磨村に来て、10年になります。球磨村は
高齢化が進み、診療所にも大変苦勞して通院し
て来られる方がおられるので、神瀬地区の方で
毎週水曜日の半日ではありますが、どうぞお気
軽に来所していただければと思います。



処置室



待合室

「診療日・診療時間」

毎週水曜日
午後1時30分から午後5時まで

球磨村診療所より、橋口医師や
看護師が出向いて診療

「神瀬地区巡回診療所」 ☎ 34-0666

決算

平成二十一年度球磨村議会九月定例会で、平成二十年度球磨村一般会計をはじめ、国民健康保険、老人保健医療、後期高齢者医療、介護保険、簡易水道の各特別会計歳入歳出決算が認定されました。

平成二十年度に納めていただいた税金、国、県からの補助金など住みよい村づくりのために限られた予算を最大限に活用した村の財政運営を理解していただき、今後においても本村発展にご協力いただくために平成二十年度決算概要をお知らせいたします。

決算審査の報告

九月定例会で豊永征介監査委員から決算審査報告がありました。

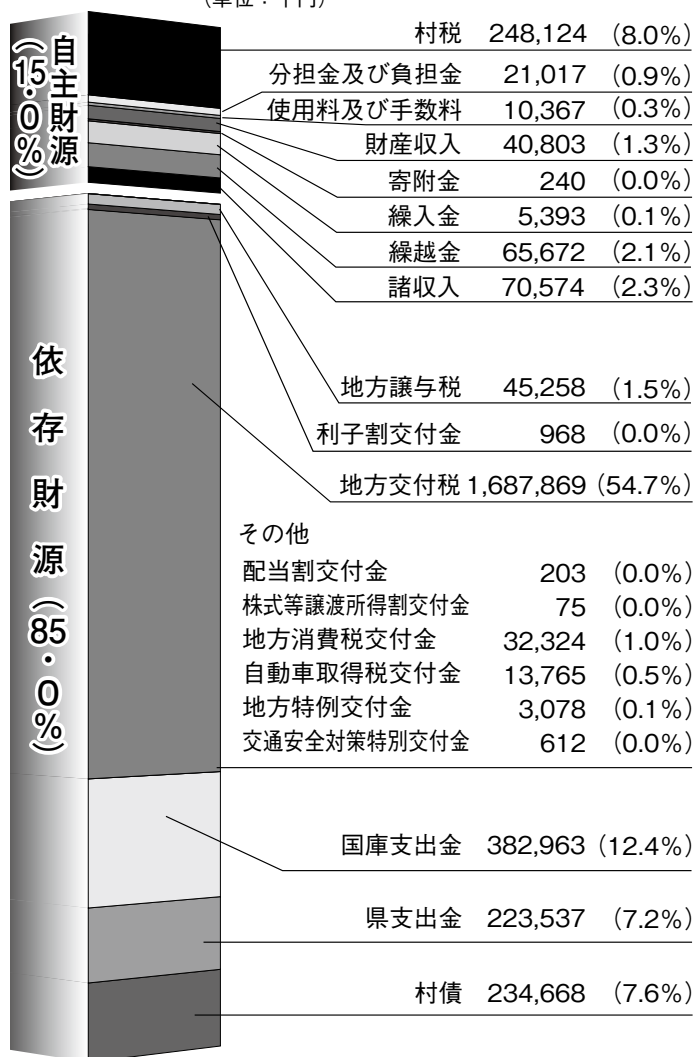
豊永委員は「審査の結果は、違法な点は見受けられず、帳簿、証憑書類と合致しており、決算係数は正確であることを確認しました。また、予算の執行、収入支出事務の処理及び財産管理についても適正であることを確認いたしました」と議会に報告しました。

一般会計（決算の概要）

平成二十年度の一般会計歳入総額（村に入ったお金）は三十億八千七百五十一万一千円、歳出総額（村が使ったお金）は、三十億八百四十二万八千円となり、歳入総額から歳出総額を差し引いた七千九百八万三千円の黒字となりました。その内、災害復旧費などの二千七百五十九万七千円が平成二十一年度への繰越財源

歳入総額 3,087,510 千円

（単位：千円）



【村税の構成】

（単位：千円） 構成率 %

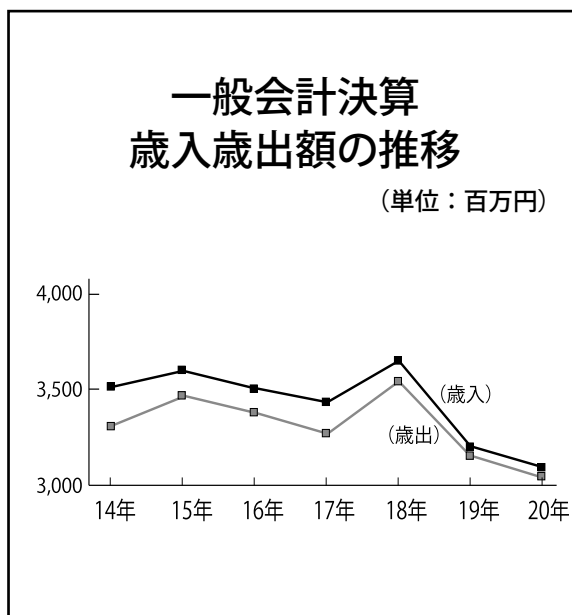
村 民 税	85,822	34.6%
固 定 資 産 税	130,503	52.6%
軽 自 動 車 税	11,014	4.4%
市町村たばこ税	19,954	8.0%
入 湯 税	831	0.3%
村 税 合 計	248,124	100%

村づくりの資金（歳入）

自主財源と地方交付税や補助金等の依存財源とに分けられます。平成二十年度決算の中で、村民の皆さんなどに納めていただいた税金額は二億四千八百四十二万四千円で、昨年度より二百十八万九千円の増額（〇・九％増）となっていますが、今後も大幅な増収は期待できず、非常に厳しい状況は続くと思われまます。

また、村の財政力に応じて国から交付される地方交付税は、前年度から五千三百四十二万円の増額（三・三％増）となりましたが、依然として歳入総額の約半分を占めており、交付税に頼らざるを得ない状況が続いています。今後とも税収等の自主財源や普通交付税の確保に努め、国、県支出金、有利な起債事業等の活用によって財政運営を図ることになります。

【特別会計決算】			(単位：千円)		
			H19決算	H20決算	前年比 (%)
1	国民健康保険 特別会計決算	歳入	714,025	679,783	△ 4.8
		歳出	611,828	562,404	△ 8.1
2	老人保健医療 特別会計決算	歳入	753,029	112,256	△ 85.1
		歳出	753,029	112,241	△ 85.1
3	後期高齢者医 療特別会計決算	歳入		50,377	
		歳出		50,271	
4	介護保険特別 会計決算	歳入	618,176	614,191	△ 0.6
		歳出	555,300	579,286	3
5	簡易水道特別 会計決算	歳入	80,945	99,393	22.7
		歳出	68,214	78,830	15.6

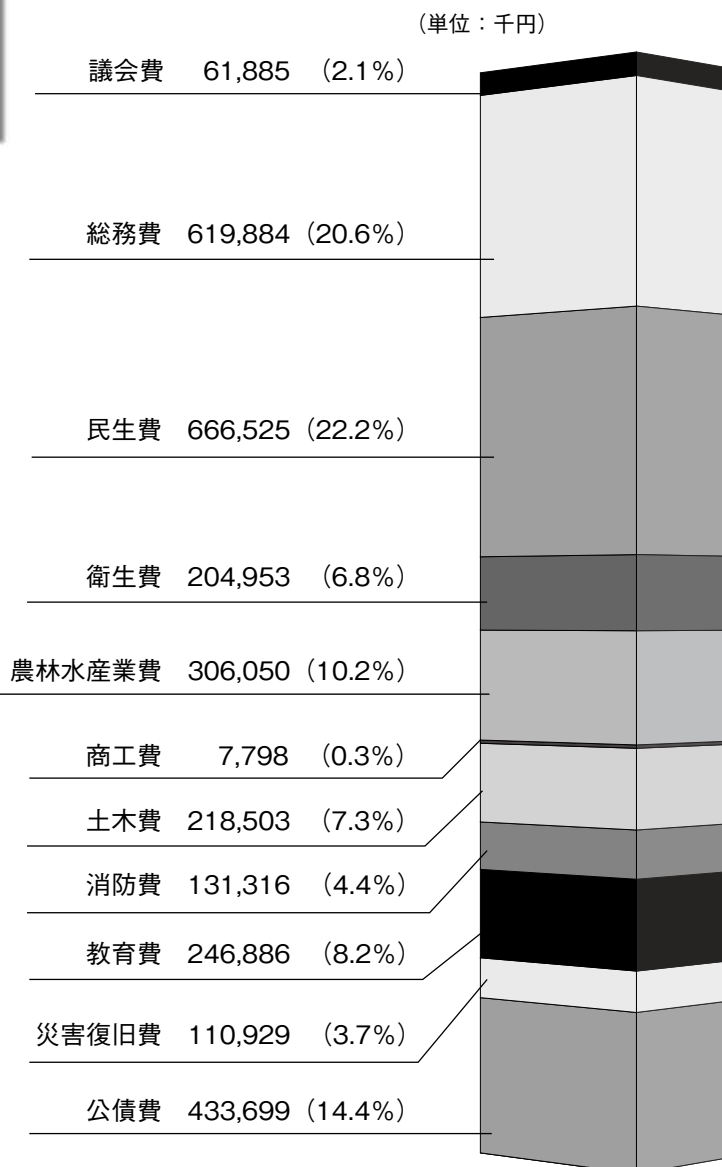


となり、繰越明許費を差し引いた実質収支（収入と支出の差）は、五千四百八十八万五千円で、平成二十一年度へ繰り越しました。

**歳出総額
3,008,428 千円**

厳しい財政状況の中、行財政の創造性、自立性を更に高め、「豊かで住みよい地域づくり」を目指し、限られた財源の中で、本村の基幹産業である農林業の振興、社会福祉の充実、生活環境の整備、住民の健康増進、教育・文化の振興など積極的に取り組みました。

**村の将来のために
(歳出)**



笑った
食した
語らった

三田明歌謡ショーに歓声

第三十回 ふねあいまつり くまむら

☆ 十月十七、十八の二日間、球磨村総合運動公園を会場として開催された、第三十回「ふれあいまつりぐまむら」が晴れ渡る秋空のもと、各団体が思考を凝らしたイベントや会場内での常設コーナー、バザーなど両日ともに賑わいました。また、今年のタレントショーは三田明さんで、熱狂的なファンクラブの方も来場。このステージとなるとドーム内は、三田さんをひと目見ようと多くの観客が集まりました。



熱唱する三田明さん

初日は、午前十一時、村内の渡保育園、こがね保育園、神瀬保育園のステージ発表で開幕し、その後子どもたちも人気の急流戦隊JINクマレンジャーショーが行われました。恒例の丸太切り大会では、第三十回のふれあい祭りと言う事で丸太も昨年の十五cmから二十cmに変わり、参加者を驚かせました。なかなか木落とすことができず、三人一組のチームですが、アンカーまで渡らず敗退するチームもありました。

また、各地で大人気の大衆演芸「いろは座」のステージでは、四人の踊り手がステージ狭くと、ステージから下り、大いに盛り上がりました。初日の締めとして、もち投げが行われました。

また、この日は関西カワセミ会の里帰りツアー一行も来場して祭りを楽しみました。

二日目は、果実品評会入賞者、農林産物品評会入賞者、棚田写真コンテスト入賞者に表彰状と記念品が桺詰村長より贈られました。

ふるさと文化交流では、村内より、川島棒踊り、大瀬組太鼓踊り、小川建築踊り、正調五木の子守唄、五木村田口太鼓踊りが披露されました。正調五木の子守唄は、全国に知れ渡っている五木の子守唄とは違い、幼くして、親元を離れた寂しさを紛らわすために、子供の背中を軽くたたきながら、語りかけるように唄うもので、来場者は静かに耳



受け継がれる伝統芸能（川島棒踊り）

を傾けました。

商工会主催によるクマちゃんシール抽選会后、三田明歌謡ステージがあり、スーツ姿の三田さんが登場すると、会場は拍手と歓声が起こり、大

勢の観客はステージに釘付けとなりました。

会場には、三田さんのファンクラブの方も遠方より来られ、大いに盛り上がりました。

その後、大福引大会が行われ、多数の景品がステージに並べられ、当選番号が呼ばれるたびに一喜一憂の表情がうかがえました。今年は、第三十回記念福引大会という事で、缶ビール一年分、カップ麺一年分、ボックスティッシュ一年分など記念賞品もありました。

祭り両日、常設コーナーも賑わいを見せ、文化協会作品展示、農産物、地元特産品の展示販売など多彩な催し物があり、熊建労人吉球磨のメンバーにより無料包丁研ぎコーナーとともに各団体のバザー等大勢の客で賑わいました。



2日間ともに大変賑わいました（芸能ショー時）



まつり潜入 カメラルポ




第二回

区長会開く

九月二十九日に、石の交流館「やまなみ」で、第二回区長会が開催されました。

会議は、区長のほか、村執行部や行政区に配置された職員が出席して行われました。

まず柳詰恒雄村長が「村の行政発展のために区長をはじめ各班においてご協力とご支援をいただき感謝します。村は、現在平成二十一年度計画、予算化されました事業に積極的に取り組み進めています。



これまでの事業を説明する柳詰村長

す。これから各種行事も多くありますが、皆様方のご理解とご協力をお願いします」と挨拶しました。その後、各課長から議題について説明がありました。

また、区長会終了後は、錦町役場で、錦町区長会との行政区再編について研修を行いました。

なお、各課長からの説明は次のとおりです。

(議題で行事が終了しているものについては省略しています)

総務企画課

一、二〇一〇年版村民手帳について
十月下旬に申し込み開始

二、情報通信網を整備 全村で携帯電話と光ネット

村内の情報格差を是正するため、光ファイバーによる情報通信網を村内全域に整備し、高速インターネットサービスの提供や地上デジタル放送等の再送信、携帯電話等の通信エリア拡大を図ります。
区長・テレビ共聴組合対象説明会

税務課

課税係

家屋の移動に伴う調査について

平成二十一年度後期分の家屋の新築、増改築、取り壊し、所有権移転などの移動がありましたら報告をお願いします。

住民福祉課

一、福祉バスの利用実績

平成十五年四月から運行開始した福祉バスは、有限会社一勝地タクシーに委託し、昨

年は二百五十六日の運行でした。利用者数を昨年と比較すると二百五十三人の減となっています。

三ヶ浦線

二八一人

横井線

二五六八人

大槻線

七七一一人

遠原線

一〇九一人

神瀬線

一一六一人

川岳線

一五六人

二、日赤社費について

日赤社費の取りまとめについては、目標額の五十万二千円に対して、七十二万二千円の協力がありました。大変ありがとうございました。

また、個人表彰として、二十七人に対して表彰がありました。

三、ふれあいサロン事業について

この事業は、五年目を迎えました。健康体操や講話、ゲームなどで健康づくりや寝たきり予防に取り組んでいます。利用を希望される方は、住民福祉課、または近くの民生委員にご連絡ください。

四、介護予防サポーターリー
ダー養成講座

養成講座を八月から九月にかけて全四回実施しました。申込者は五十五名あり、そのうち四回受講された方が

二十七名が、サロンにおいて運動支援等の活動をする「ふれあい応援団」として登録いただきました。

五、有償ボランティア制度

サロンボランティアとして活動いただいているボランティアの方に対して、活動に応じて一時間1ポイントを付与し、年度末に1ポイントを百円に換算し、五千円を限度として活動費を支払うものです。

六、シルバー人材センターについて

平成二十年度実績
・会員数・・・四十三名
・受注件数・・・二百八十九件
・就業述人数・・・一二三三人

健康衛生課

一、季節性インフルエンザ予防接種問診票配布について

季節性インフルエンザ(集団)の申込取りまとめにつきましては、大変お世話になりました。

今年度は、ワクチンの生産が例年より少なくなっていますので、申込は締め切らせていただきました。

二、新型インフルエンザ感染防止・重症化防止について

患者発生数は、全国的に急増しており、新型インフルエンザの本格的な流行が始まりました。正しい知識を持って、家庭でできる対策をお願いします。

三、神瀬地区巡回診療所の開設について

十月から、神瀬地区巡回診療所が開設します。

・診療日・・・毎週水曜日
・診療時間
午後一時三〇分から
午後五時まで

四、ジェネリック医薬品の使用について

球磨村診療所及び神瀬地区巡回診療所における医薬品につきましては、ジェネリック医薬品を希望される方へは、その薬を使用していただくようお願いしています。「ジェネリック医薬品希望カード」をご活用下さい。

五、犬の苦情について

犬の放し飼いや糞の始末について、苦情が寄せられています。特に糞の始末について、堤防等の草むらに捨てることなく、必ず持ち帰って処理をしてください。

産業振興課

一、農林産物品評会

平成二十一年十月十五日
午前九時～十一時
球磨村生活改善センター

球磨村生活改善センター

二、樹園地造成（苗木購入補助）事業

栗・梨等の果樹園を造成することで、農業経営の安定と所得の増大を図るため、苗木購入に対する補助を行いますので、ご活用ください。

※補助率は八割以内です。

三、栗剪定指導員制度事業

栗生産農家の剪定技術の向上及び樹園地の老朽化防止及び高品質生産を支援するため、指導員を派遣します。

※負担金は、村五千元、受益者五千元です。

四、集落調査について

村では、「熊本県ふるさと雇用再生特別基金事業」を活用し、球磨村棚田保存会と委託契約を行い、臨時職員を二名雇用し、次の事業を行っています。

① 農林産物集荷及び獣害被害調査研究等営農助言事業

② 球磨村まるごと棚田博物館コーディネート事業

球磨村棚田保存会職員二名

が、各集落代表者（区長・班長）に調査日程等の連絡を行い、現地調査及び簡単な聞き取り調査を行いますのでご協力をお願いいたします。

五、有害鳥獣捕獲事業

急増する有害鳥獣によって生じる農林産物への被害を防止するため、捕獲事業を実施しました。

有害鳥獣捕獲期間	狩猟期間	区分
647	200	シカ
82	228	イノシシ
	7	タヌキ
	4	キジバト
	4	ハト
91		カラス

六、野生サルの目撃情報

近年、野生サルの生息域、行動圏域が広がっており、農林産物の被害が拡大しつつあります。野生サルの実態を把握し、被害対策の一助としたので、目撃された時は、連絡ください。

七、作業道生コンクリート補助事業について

計画路線 向淋線外十七路線
LⅡ一、六一〇m

八、補助事業の活用について

・シカ等森林被害防止対策事業

熊本県ではシカによるスギ、ヒノキ等の幼木の食害や剥皮被害の対策として、防護柵用ネット資材代が一〇〇％補助されますので、造林や間伐される際は活用下さい。

・造林用苗木補助事業について

同事業については、村でも実施していますが、スギ・ヒノキ・クスギ等の造林木の資材代についても熊本県の補助が行われています。造林事業等の国庫補助事業と併せ一〇〇％補助されますので、活用下さい。

九、歴史探訪「人吉街道ふれあいウォーク」について

開催日 十一月二十一日（土）
時間 午前八時～午後四時
コース

・ショートコース（六km）

球磨洞駅～一勝地駅
・ロングコース（二〇km）

白石駅～一勝地駅
十、レンタサイクルについて

レンタサイクル料金
一日・・・七百元
四時間まで・・・五百円
一時間増すことに・百円

問い合わせ先

球磨村観光協会

☎ 0966・32・0019

建設課

一、各種工事に伴う通行止めの協力について

道路改良工事に伴い全面通行止め、時間通行止めを行っています。地域の皆さんには大変ご迷惑おかけします。

教育委員会

一、くまもと教育の日

inくまむら

開催日・・・十一月一日

内容

スクールコンサート

二、コミュニティ組織推進モデル事業について

行政区の再編に伴い、地域を「核」としたコミュニティ組織を確立し、幅広い年齢層を一つの集合体として、「地域づくり」をみんなに手づくりあげる支援を行います。

最後の運動会

スローガン

「みんないっしょに楽しもう！二小最後の運動会」

来年三月に閉校する一勝地第二小学校と神瀬小学校の最後の運動会が、十月四日に児童だけでなく、地域の住民も参加して盛大に行われました。

二校ともにPTAが中心に、運動会を盛り上げようと夜間に話し合いをしたり、ダンスの練習をしました。

一勝地第二小学校

高濱伸也校長

児童数二十五人

第二小学校は、百三十四年の長い歴史に幕を下ろすことになります。

運動会のプログラムには、閉校記念運動会と記され、数多くの種目が用意されました。

開会式では、六年生の毎床太一くん・大無田泰雅くん・山崎彩乃さん・星原優さん・恒松かれんさん・井本恵理香さんの六人が炬火リレーを行いました。プログラムは、一年生の徒競走から始まり、老人会の種目、保護者の種目、一般の方の種目と賑わいました。六年生の徒競走は、学校の歴史百三十四年に併せて一三四mを走りました。

昼食時には、昔ながらのロープで張ったテントで思い出を語ったり、焼酎を酌み交わしたりと地域間交流がありました。

また、数年振りに復活した仮装行列は、各集落から出され、女装や農婦姿などユニークな行列ができた大変盛り上がりしました。午後は、全児童による一輪車演技から始まり、運動場を一周すると「ありがとう わすれない 第二小」とメッセージを作り、会場の注目を集めました。

保護者は、夜間に練習した、「YOSAKOIソーラン」を際立つ衣装に着替え披露しました。

閉会式後には、参加した全員で記念撮影を行い、エコ風船を秋空に放しました。

運動会実行委員長

六年 大無田泰雅くん



最初は、団長希望でしたが、ジャンケンで負けたので、でも長がつくものにしたくて実行委員長をすることにしました。

今年で、最後の運動会となりました。でも、みんなの心に残る、また、地域の方の心にも残る素晴らしい運動会

でした。でも、百三十四年の長い歴史が終わるのは、とても寂しいです。

この第二小学校を最後、卒業生としてできることを誇りに思い、残り少ない学校生活を楽しみます。



長い歴史に幕

地域も盛り上がった

スローガン

「ありがとう神瀬小学校」 みんなでつくろう最高の運動会

神瀬小学校

上田陽一郎校長

児童数二十三人

神瀬小学校は、百三十六年の長い歴史に幕を下ろすことになります。

神瀬小でも、運動会のプログラムには、閉校記念運動会と記され、また、記念うちわが配られました。

毎年、神瀬小学校は、神瀬保育園の合同運動会を行っており、また、地域住民の参加も呼びかけました。

開会式では、全児童二十三名が聖火をリレーして最後、六年生の坂本壮磨くん・假屋毅寛くん・犬童拓実くん・永椎樹奈さんの四人が、手作りの聖火台に点火しました。それと同時に、用意されていたハト三〇羽が青空に放たれました。

プログラムは、「ラストラン」と題した全児童による徒競走から始まりました。保育園の鼓笛隊、幼年消防規律訓練、遊戯また、保護者や地区住民参加の競技など多く、大変賑わいました。

全児童による一輪車演技は、

伝統であり、素晴らしい演技でした。それぞれが運動場を一周するたびにテント席から大きな拍手や歓声が上がりました。

神瀬小学校でも保護者による仮装行列で盛り上がりしました。

閉会式では、全員で風船を飛ばしました。

白団長

永椎 樹奈さん
みきな



最後の運動会で団長をしました。みんなを

まとめるのは大変だったけど、後からみんなが進んで話を聞いてくれました。そのおかげで白団が優勝できました。また、全校児童での聖火リレーや風船飛ばしなど最後の運動会に悔いが残らないように取り組みました。

神瀬小が閉校になるのは悲しいけど、神瀬小を誇りに思い、最後の卒業生として責任感を持って頑張ります。



くまむら農業の振興を考える

農業アドバイザー会議

鈴木康夫会長に聞く

現在、最終答弁書を審議中です

よくぞ代弁していた
できました

「現在の中山間地域等直接支払制度は、ほ場区画条件のよい天草の中間農業地域ではうまくいっているが、芦北町のような山間農業地域ではうまくいっていない」と、山中進熊本学園大学教授が発言しました。続いて、「このような事例報告では、ぜひ本村のような県南の山間地域を扱ってほしい。わが村では零細で急な田んぼが山にへばりつくようにある」と内山慶治山江村長が言われました。これは、十月十日に熊本県立大学で開催された「中山間地域フォーラム in くまもと」でのことです。このフォーラムは、全国規模で熊本開催でした。



耕作条件はさほど良くないが、管理されている農地

お二人はよくわかってい
なと私は思いました。今回の
パネルディスカッションに私
が登壇していれば、私だっ
て言っていただろう。よくぞ代

弁してくれました、と拍手を
送りたい。本来、今回のよう
なフォーラムでは、このよう
な制度がうまくいっていない
ところをどうするか、につい

て真剣に議論していい
はず。山中進教授にして
「今回の事例報告では何
も得るものがなかった
というのが、正直な私の
感想だ。」とまで語らせ
た背景は、この一点に尽
きよう。

とにかく行政はうま
くいっていることのみ
を前面にだしがちです。
直払制度が、農業振興地
域のなかの農用地しか
支援の対象としていな
いことも一部の人しか
知りません。我々、農村
研究者でも知らない人



農業用機械が入り難いが、よく管理されている農地

もいます。耕作放棄地が多く
発生し、なんとか解消しよう、
国や県はアピールしているが、
肝心の多発地は農業振興地域

エリア内の白地地域（農
用地に指定されていない
耕地）や農業振興地
域外の耕地である。本
村のように、農業振興
地域の農用地をかかえ
る集落でも、直接支払
いの集落協定にエン
トリーできないケースも
多い。五年間なんてと
ても健康でいられるか
分かりません。農業機
械が入らない・軽トラ
ックが入る道がない。条
件の悪い農用地なので、
などの理由も切実だ。
なぜ、当初の制度設計
のときに、条件不利性
をランクづけして、山間農業
地域と中間農業地域を区別し
て支援しなかったのか。つぎ
の第三期の制度改善に期待し

たいと思います。

研究者の姿勢

最初から辛口のコラムになってしまいましたが、行政関係者には誤解のないように弁明させていただきます。私たち研究者は、地域や生活の場での政策の本質を見極め、住民の暮らしがよくなるように、国や県、市町村にアドバイスするのが仕事です。そのアドバイスときには「没」

にされることだってあります。今回の本村での私の仕事においても、それを覚悟でアドバイスしている。取捨選択は当事者の権利だからです。

ところで、私は現在、大きな役職として、熊本県国土利用計画審議会の会長と九州農政局の環境保全型農業推進会議の会長を引き受けています。

前者では、本年春に策定した第四次熊本県国土利用計画が県議会の承認を得て。ほっ

としていますが、反面、「耕作放棄地の解消」という



農地の中央に道路が走り、管理が届いている農地

文面に、会長としてはなく一研究者として後ろ髪を引かれる思いでいます。「現在ある耕作放棄地を耕地にもどす、今後、耕作放棄地を発生させない」という政策宣言です。せめて、「耕作放棄地の抑制」という表現にすればよいのにとアドバイスしました。悲しいかな、そこは県のお役人さん方、国の政策目標に「耕作放棄地の解消」の文面があるので従わざるを得ないのです。むしろ、目標なのだから、

大きく宣言した方がいいというのも事実です。ただし、国は、解消する手立てを明示する必要がありますでしょう。果たして、

事例を審査し、国に審査報告書を提出する仕事です。毎年、とても勉強させていただいています。だが、こちらも推薦



道路がなく、耕作条件の悪い農地

本村のような、山間の耕作条件に極めて劣る棚田の耕作放棄を果たして食い止める、再生する手段を提示できるのだろうか。県に対してではなく、

度かあります。

根拠のある答申内容にいたします

国に一研究者として物申す次第です。

後者では、毎年、九州各県から出てくるコンクール出品

です。すでに、先ごろの会議で、答申書の素案が審議され、付帯して報告書も提出されることになりました。現在、私の手元で委員の皆様方から出された修正意見を、答申書に反映させる業務を進行中です。ここで、一つだけ紹介します。

答申項目のなかに、国・県の補助事業について、個々の山間農業地域の実情にあった形で、エントリリー要件の緩和を図ってもらうよう情報発信するという内容があります。中間農業地域との格差は正、条件不利地域対策としての政策効果の向上、農業のもつ多面的機能の維持の3点において、改善が図れると思われるからです。それぞれの山間地域やそのなかの集落の個性や条件不利性を踏まえた上で、山間地域を国や県は政策的に支援してほしいという願いもあります。その実現のためには、地方分権、財源委譲が不可欠ではないでしょうか。アドバイザー会議委員一同、根拠のある答申内容にすべく努力しています。

実りの秋

素晴らしい出来ばえ

球磨村果実品評会
球磨村農林産物品評会

【果実品評会】

九月二十五日、渡地区多目的集会所で、球磨村果実品評会が開かれ、村内の果樹生産農家から、立派に収穫された梨と栗が出品され、審査を行いました。

出品されたのは、栗の部に「利平」十四点、「銀寄」十四点、「筑波」九点の計三十七点。梨の部は「新高」のみ三十七点が審査を受けました。

審査は、球磨地域振興局農業普及指導課とJA球磨の職員が審査を務め、栗は比重や大きさ等を審査。梨は、糖度や形状等を審査しました。

この品評会での入賞者は、ふれあいまつりで表彰されました。入賞者は、次のとおりです。
(敬称略)

《栗の部》

「利平」

- 一等 糸原 善行(糸原)
- 二等 鶴口 義弘(鶴口)
- 三等 田中 文丸(茶屋)
- 三等 椎屋 哲哉(椎屋)

「銀寄」

- 一等 大無田光幸(大無田)
- 二等 大無田義博(大無田)
- 三等 田中 文丸(茶屋)
- 三等 榎木 清光(大無田)

「筑波」

- 一等 大無田義博(大無田)
- 二等 田中 文丸(茶屋)
- 三等 岡 義一(岡)

《梨の部》

「新高」

- 一等 毎床 利夫(毎床)
- 二等 有瀬 幸己(毎床)
- 二等 毎床 勝博(毎床)
- 二等 毎床 直(毎床)
- 三等 犬童 勝則(毎床)
- 三等 西 文久(毎床)



色艶厳正に審査しました

【農林産物品評会】

十月十五日、生活改善センターで、旬の野菜や加工品などを審査する、球磨村農林産物品評会が行われました。

秋の一斉開帳 相良三十三観音めぐり



熊本市からの参拝にきました

毎年、秋のお彼岸の頃に、人吉・球磨一带に点在する観音様が一斉開帳されます。今年も、九月二十日から二十六日まで期間に開帳されました。

本村でも五番札所の鶴口観音堂が開帳され、宝印を宝印帳に押して巡る多くの参拝者が訪れました。また、観音堂隣の休憩所では、鶴口地区の方々によるお茶の接待があり、心温まるおもてなしに、参拝者と地元の人たちとの交流も深まりました。

熊本市から参拝に訪れた女性は「二日間て全部を参拝する予定です。鶴口観音堂は、高台にあり、木々に囲まれているので気持ちがいいですね」と話されました。

品評会は、午前九時から十一時まで受付がされ、村内から野菜の部四十八点、果実の部四十五点、加工品の部二十九点、林産物の部十四点、穀類の部九点が出品されました。

午後から審査に移り、球磨地域振興局農業普及指導課とJA球磨の職員や指導員が審査にあたり、一品一品手に取り、慎重かつ厳正に審査が行われました。

出品された農林産物は、開催された「ふれあいまつり」に展示され、入賞者を表彰しました。

入賞者は次のとおりです。
(敬称略)

《加工品》

- 一等 山口マユミ きゅうりの漬物

《果実》

- 一等 松谷恭夫 梨(新高)
- 一等 犬童秀則 梨(新興)
- 二等 毎床和博 梨(王秋)
- 二等 有瀬幸己 梨(新興)
- 三等 毎床利夫 梨(新興)
- 三等 犬童勝則 柿(太秋)
- 三等 有瀬幸子 かぼす

《穀類》

- 一等 大槻國光 あずき
- 二等 有瀬幸子 黒豆
- 三等 鶴口義弘 夏豆

《野菜》

- 一等 横井美紀 白菜
- 一等 有瀬幸子 バレイシヨ
- 二等 内布八千子 インゲン



実りの秋。数多くが出品されました

秋風を受け森林浴を楽しんだ ふれあいウォーキング



秋風を受け、元気にスタート

十月十一日、村、教育委員会、スマイルスポーツクラブ主催のふれあいウォーキングが、石の交流館「やまなみ」をスタート、三ヶ浦毎床地区の一勝地梨まつり会場までの往復約九kmに二十三名の参加があり、開催されました。

参加者の中には、熊本県ウォーキング協会の事務局の方三名も参加し、ウォーキングの普及をPRしました。石の交流館「やまなみ」を出発した一行は、梨まつり会場までの道のりを、自然を満喫したい、運動不足解消にと参加した人もおり楽しく、マイペースで歩きました。

昼前には、全員、毎床地区に到着し、梨まつりが開催されている果実組合の選果場で昼食をとり、お土産に梨を購入したり、来場者と一緒にふれあいを楽しみました。昼食を終えた一行は、来た道を折り返し、石の交流館「やまなみ」を目指しました。到着後は、かわせみで疲れた体を温泉で癒しました。

感謝・感謝の

大奉仕

一勝地梨まつり

十月十一日、一勝地果実組合（毎床和博組合長）主催の第四回一勝地梨まつりが同組合選果場で開催され、村内外から多くの参加者が訪れました。

今年は、台風の影響もなく、例年より糖度も高く、出来は良いということでした。

まつりは、梨の重さ当てや

梨の皮むき競争、お楽しみ抽選会、こがね保育園児による和太鼓演奏など催しがありました。また、組合員によるカレーライス、豚汁、焼きそばなどの各種バザーもあり、大変盛況でした。

今年は、熊本県立大学の学生十人が「KUMAJECT」の球磨村チームとして、十日から二泊三日の日程で毎床地区の公民館に宿泊しながら、まつりの準備や当日は受付や催し物の司会など運営に協力しました。



飛びように売れました

スポーツの秋 秋風を切って

六時間耐久リレーマラソン

十月十二日、球磨村総合運動公園で、くまむらスマイルスポーツクラブ・球磨村走ろう会主催の「くまむら6時間耐久リレーマラソン」が周回コース（二km）で行われました。

この大会は、チーム編成は自由で、走ることの好きな人たちが六時間、一周一kmのコースを自分のペースで走り、絶え間なくタスキでリレーし、交流する大会で、昨年に続き開催されました。

今年は、人吉球磨から九チームの参加があり、球磨工業高校が大会初の一〇〇kmを走破しました。

開会式で、球磨村走ろう会の田代利一会長は「自分のペースで秋風を感じながら楽しく走ってください」と挨拶し、桧詰恒雄村長、松田三郎県議が祝辞を述べました。その後、に、フットサルチームGOLAZO（ゴラッソ）の槻木正剛選手が選手宣誓を力強く行いました。

成績は次のとおりです。

（一）内はチーム人数



さて、何キロ走れるかな～

- 球磨工業高校（八人） 一〇五・九キロ
- スタミナ野郎（十人） 九六・〇キロ
- （湯前駅伝チーム）
- ファイアーマン（八人） 九五・〇キロ
- 激走2009（十人） 九〇・七キロ
- チームふなとパワーアップ（四人） 七六・〇キロ
- 球磨村走ろう会（十人） 七四・六キロ
- GOLAZO（五人） 七一・三キロ
- おっ☆サンズ（十三人） 七〇・五キロ
- 球磨村青年団（六人） 六九・〇キロ

11月8日は「いい歯の日」です！

いい歯とは、どんな歯か考えてみましょう。虫歯にかかっていなければいい歯でしょうか？例えば、歯周病を起こしている歯、これはいい歯ではありません。



また、歯並び（歯の並び具合）が悪い歯（乱ぐい歯、早期接触を起こし、顎をずらす歯等）があると咬み合わせが悪くなり、全身に様々な症状を起こすことがあります。また、いい歯であっても隣の歯が抜けてしまったり、咬み合う歯がなくなったりすると、倒れてきたり、とび出てきて歯並びが悪くなり悪い歯へと変身します。いつまでも輝く白い歯でいるために、お近くの歯科医院で検査してみてもいいでしょうか。

文責 球磨川歯科医院

☎ 0966-32-1109

秋季全国火災予防運動

期 間 平成21年11月9日（月）から
11月15日（日）まで

防火標語 『消えるまで ゆっくり火の元 にらめっ子』（全国統一防火標語）

【もう設置されましたか？住宅用火災警報器！】

住宅火災により5年連続して、全国で1000人を超える方々がお亡くなりになっています。その多くは「逃げ遅れ」が原因で、もっと早く気づき、避難していればと思われまいます。そのようなことから、住宅火災による死者を減らす「切り札」として、住宅火災警報器の設置が義務付けされました。この警報器は、平成23年5月31日までに設置しなければなりません。まだ、設置されていない方は、早めに取り付けましょう。

（問い合わせ先）人吉下球磨消防組合 西分署

☎ 32-0119

球磨村役場 総務企画課

☎ 32-1111

肥薩線全線開通 100周年記念

歴史探訪「人吉街道ふれあいウォーク」開催

期 日：平成21年11月21日（土）

時 間：午前8：00～午後4時

コ ー ス：①ショートコース（球泉洞駅 ～
一勝地駅 約7km）

②ロングコース（白石駅 ～一勝
地駅 約10km）

受付場所：球泉洞駅、白石駅、一勝地駅

（一勝地駅集合者は、スタートを希望する駅にバスを運行します）

そ の 他：臨時茶屋オープン（球泉洞休暇村前・
柴立姫神社）

観光案内人によるガイド

ゴールでの抽選特産品プレゼントなど

（問い合わせ先）

球磨村観光協会事務局（球磨村産業振興課内）

☎ 0966-32-1115

お知らせ

第19回 球磨村ゴルフ大会の開催

と き：平成21年11月15日（日）

と ころ：熊本クラウンゴルフ倶楽部

参 加 料：2,000円

参加締切：平成21年11月10日（火）

※電話でお申し込み下さい。

参加対象：球磨村にお住まいの方

球磨村の事業所にお勤めの方

申 込 先：球磨村体育協会事務局

（球磨村教育委員会内）

☎ 0966-32-1117

陽だまり

第2回「子育てひろば」ご案内《おやつづくり》

●とき：11月13日（金）19:00～21:00 ●場所：渡保育園
レストランどんぐり *参加希望の方はお電話下さい。

球磨村地域子育て支援センター「陽だまり」

〒869-6401 球磨郡球磨村大字渡乙763（渡保育園内）
TEL (0966) 33-0125 FAX (0966) 33-0173
ホームページ <http://www7.ocn.ne.jp/~watarih/>
Email watari@mocha.ocn.ne.jp

*ブログもやってま～す。携帯からもみられますよ！

「子育て支援センター 陽だまり」は、月～金の9:00～16:00、土曜日は8:00～13:00まで開放しています。
（祭日はお休みです）陽だまりサロンも月に3～4回やっています。下記の日程をごらんになり、親子でそしてマタニティさんもう
ぞお気軽においでください。お待ちしております。

《ベビーマッサージ》

10月3日におこないましたベビーマッサージの様子です。おなじみOKJの山室先生のご指導で楽しく過ごしたひとときでした。



上に伸びて～
痛気持ちいい！



いつもパワフルな
山室先生です

ほっぺをすりすり
いい気持ち



産後ビクスも人気
です。

《陽だまりサロン》

9月のママ誕生会の様子です。
プレゼントのカードをもらってにっこり
(^-^)- ☆



誕生会の
離乳食体験



《フリートーク》



陽だまりデビュー
です。



《最後の合同運動会》 神瀬保育園

少子化になり数年来は神瀬小学校と合同で運動会を開催させて頂きました。神瀬小学校が今年度で閉校という事で今まで以上に地域の方々から来て随分と無沙汰している懐かしいお顔に遭うことが出来ました。総練習などでお邪魔すると小学生の姿を見て園児なりに刺激を受けて、行進の時の手の振り方が小学生のようになり大きく振りました。そして一輪車や応援団は子供達の憧れです。上級生が低学年に丁寧な教え練習していく事も尋ね聞いています。そして本番は赤組と白組に分かれて披露します。テントが小学生と隣同士で色々な細かなところが見えます。「ぼくも小学生になったらあんなことしたい」という見本がたつぷりだったのです。最後の運動会ではもう見られないと思い以前の運動会の光景を思い出しながら「あんなことあった名物おじさんみたいな」など眼に深く焼き留めました。



最後は空の青と山の緑の中にカラフルな風船が消えて行き寂しさを覚えました。「昔は子どもも沢山あったとバイ」とお年寄りの方がぼつりとささやいた。時代の流れではますます残らない心の「おり」が残った。

《最後の運動会》 こがね保育園

学校再編で、一勝地第一小学校として最後の運動会に、三歳以上児十七名も参加させて頂きました。秋晴れの、年長・年中さんの力強い和太鼓の演奏に年少さんはポンポンで元気一杯踊ってくれました。和太鼓披露は保育園の運動会に続いて二回目、一回目より落ち着いて披露できました。回を重ねるたびに自信がついてきているようです。

又、昨年より小学生と園児のクラブで「KUMAKOUI六調子」を園児の和太鼓で小学生の皆さんが踊りを披露しました。小学校とはお隣同士息もピッタリの素晴らしいコラボとなりました。一勝地第一小学校としての最後の運動会に参加させて頂きありがとうございます。

《むかしむかし、 恐竜がいたんだって...》 渡保育園

第八回絵本館まつりがはじまります。今回は白亜紀の恐竜たちの世界を旅します。むかしむかし、あばれんぼうでいじわるな恐竜ティラノサウルスがいました。ある日、ひよんな事から海に落ちてしまいました。泳げないティラノサウルスが必死に泳いでいるとそこへ海の恐竜エラスモサウルスが助けけてくれました。そこで二人の間に友情が芽生え、今まで強がっていたティラノサウルスが優しくなっていくという話を基に、今年は宮西達也さんのティラノサウルスシリーズの絵本から「やさしいころ」について考えます。二十六日（月）のオープニングは職員手作りの影絵を上映します。三十一日のフィナーレではわんぱくのうえんが収穫した野菜と優しい心がたつぷり入った「やさしい汁」を始め、親子で遊べるコーナー、優しい心に触れるお楽しみコーナーがあります。また、陽だまりの方の手作りワンダーシヨップもあり、どうぞみなさんご近所お誘い合わせの上、渡保育園へおいでください。お待ちしております。

●第八回絵本館まつりフィナーレ●

●十月三十一日（土）九時三〇分 渡保育園●
子どもたちが共同で製作したティラノサウルスがお迎えします。お楽しみに・・・

《りんごの木サークル糸原さんおすすめ絵本》

「月夜のじどうしゃ」 講談社
渡辺茂男・作、井上洋介・絵

食べ物を探しに来たたぬきの親子がおじいさんと仲良くなり、捨ててあった車を修理して、十五夜にドライブを楽しみます。



《10月「陽だまり」行事予定》

- 5日(木)陽だまりサロン
- 11日(水)陽だまりサロン（避難訓練）
- 13日(金)子育て広場（渡保育園）
「手作りおやつ」
- 17日(火)陽だまりサロン（育児講座）
- 19日(木)3～4、8～9ヶ月健診
- 21日(土)りんごの木サークル
- 25日(水)陽だまりサロン（ママ誕生会）

○松舟 文夫様（故 ミツノ）
○今村 茂喜様（故 フヂエ）
○堤 寛 様（故 貴 寛）
○毎床 末男様（故 マキエ）

社会福祉協議会へ御遺族の方々から香典返しとして御寄付いただきました。皆様のお気持ちを大切に役立てたいと思います。
（九月分）

香典返し

寄せられた善意

自分達で使う施設 自分達の手できれいに

9月25日、午前7時から球磨村総合運動公園「さくらドーム」周辺と神瀬地区グラウンドゴルフ場の2箇所にて、老人クラブ連合会（香月千松会長）の会員約150名が、「自分達で利用する施設をきれいに」と草取りのボランティア作業を行ないました。

この作業は、9月の全国一斉に行なわれた「全国社会奉仕の日」に合わせ、全クラブ参加のもとに取り組みました。



第4回火の国ボランティアフェスティバル in 球磨人吉

キャッチフレーズ

『さし出す手 球磨川の 流れのように 優しく強く』

11月21・22日に、第4回の火の国ボランティアフェスティバルが、球磨人吉で開催されます。これは、平成18年に熊本県独自で、県下地域のボランティア活動への関心に目を向けてもらえるようにと、県下地域の持ち回りにより開催しているものです。

今大会のテーマは、『障がいとボランティア』となります。メイン会場は、「あさぎり町須恵文化ホール」です。地元で開催されますので、ご参加お待ちしております。

21日（土）の日程

10時より	展示広場・ふれあい広場開場
11時より	式典・記念講演
12時30分より	アトラクション 須恵小学校体育館
14時30分より	分科会 須恵文化ホール
	せきれい館
17時30分より	交流会 もみじ館

※お問い合わせ等については、球磨村社協（☎ 32-0022）にお願いします。

えがお
発信便

テーマ

高齢者の食事について



心配ごと相談 気軽に相談を

生活する上での様々な悩みや問題等ありましたら、気軽に相談ください。種々の関係機関と連携をとりながら、解決へのアドバイスをいたします。

☆相談日 毎月第4金曜日
☆時 間 午前9時～12時
☆場 所 高齢者生活福祉センター「せせらぎ」
☆相談員 上原 正博 34-0020
原 ひとみ 33-0228
☆問合先 球磨村社協 32-0022

健康で充実した毎日を送るために、バランスの良い食生活を送ることは大切なことですが、食事だけで健康を支えることはできません。毎日の食事に適度な運動が加わってこそ健康な体を維持することができるのです。しかし、年齢が増すにつれて体の機能が衰えてくるのは仕方がないことですが、だんだんと運動をする機会が減り、その結果筋肉が委縮、消費するエネルギーが少なくなってくるのです。自然と食事が減り、必要な栄養さえも摂れていない状態になっていきます。それが、“低栄養状態”に陥るのです。

ではどのような食事の取り方が良いのか。

一度には食べられなくなってきていますので、1日3回の食事は“主菜・副菜を中心”に、ご飯ものはおむすび等にし、おやつの時間に食べる。そして、できるだけ多くの食品を摂るように心掛けたいものです。

最後に一言 「空腹は最高の調味料」と言われる通り美味しく食事を頂くためにも、体を動かしましょう。太陽の光を浴びて、四季の移り変わりを楽しみながら歩いてみると新しい発見があったり、人と触れ合うことによって脳が活性化されて効果的です。

低栄養状態

体重の減少
↓
免疫機能の低下により感染症にかかりやすくなる
↓
入院しやすくなる

みんなの 広 場

このスペースは、村民のみなさんのページにしたいと思います。
川柳、俳句、短歌などお寄せ下さい。



肥後狂句

無理 とつぺんはまだ雲ン上

作 富永山芍薬
やましやくやく

のんびりと 時代遅れて言えば言え
どうしたもんか 銀行が動いてくれん

作 鳥飼竜胆
りんど

浮草 まるで「寅さん」見る如る
なん転び オゾン吸いぎゃア来たテグス
胸騒ぎ 山菜取りイ行かしたが

作 日當山岳

好都合 相手にスキャンダルの出た
勇ましき ひっくり返りよる神輿
盛り上り 踊りまで出た一周忌

(肥後狂句講座集より抜粋)

気立が一番 顔はオロヨカ抜天が
そこが腕 型も揃えて釣って来る
一泊二日 母さんにはじめての嘘



11 月 の 行 事 予 定

(変更になる場合もあります)

日	月	火	水	木	金	土
1 ◆くまもと教育の日inくまむら	2 ◆インフルエンザ予防接種(渡多)	3 文化の日 ◆一勝地阿蘇神社奉納剣道大会	4	5 ◆インフルエンザ予防接種(渡多)	6	7 ◆第3回九州カワセミ会
8 ◆一勝地阿蘇神社奉納ソフトボール大会 ◆一勝地地域婦人会(ソフトミニバレー大会)	9	10 ◆区長文書	11	12 ◆球磨村弓道大会 ◆神瀬住吉神社大祭	13 ◆定例町村長会議	14
秋季全国火災予防運動						
15 ◆球磨村ゴルフ大会 ◆行政相談(9:30 役場) 秋季全国火災予防運動	16 ◆インフルエンザ予防接種(神多)	17 ◆インフルエンザ予防接種(かわせみ別館)	18 ◆献血(9:00~役場、13:00~JAくまむら店)	19 ◆3・8か月児健診(13:00 渡多)	20	21
22 ◆第4分会球技大会	23 勤労感謝の日 	24	25 ◆区長文書 ◆農業委員会定例会	26	27	28
29	30					

※ [改セ]; 生活改善センター、[渡多]; 渡多目的集会施設、[神多]; 神瀬多目的集会施設、[やまなみ]; 石の交流館「やまなみ」[第一小]; 一勝地第一小学校、[第二小]; 一勝地第二小学校、[運公]; 総合運動公園、[球中]; 球磨中学校



私が 主役

しんのすけ
糸原 慎之介 くん (3歳4か月)

父：英 樹さん

母：真理子さん (糸原地区)

【ママから一言】

これに、父ちゃんからもらった黄色いヘルメットをかぶるのが、一番のお気に入りです。いろんなことをたくさん経験して、たくましく元気に大きくなってね！

～ 募集します～

私が主役コーナーでは、子どもさん (赤ちゃん) の写真の応募をお待ちしています。対象児は6歳未満児とします。

また、自分をアピールしたい人もお待ちしております。

【連絡先】 役場総務企画課 ☎32-1111



ひろし
毎床 弘之 さん
(85歳 毎床地区)

○自己紹介

約60年前に毎床地区に来て以来、ずっと梨園に仕えてきました。今は、息子夫婦が梨園をしていますが、私も下払いなどをやっています。

元々、身体が弱く、この歳まで元気にいることが不思議なくらい。身体に異常がある時はすぐに病院に行きます。お陰で薬はたくさん持っていますよ。(笑)

元気な秘訣を聞かれても、運動が大の苦手で、運動はしませんが、梨園に出たり、畑で野菜をつくったりして、身体を動かしています。

○球磨村に思うこと

今、農業就業者が少ないし、荒廃している農地も多くなっているの、農業振興対策に頑張りたいと思います。

人口・世帯の動き			
	10月1日現在	前月比	前年同月比
世帯数(戸)	1,648	△4	△7
人口(人)	4,642	△15	△80
男(人)	2,204	△4	△17
女(人)	2,438	△11	△63

(この用紙は再生紙を使用しています。)

今村 氏名
フヂエ
94才
島地区
田区

お悔やみ申し上げます

西門 氏名
留奈
康弘
山口地区

お誕生おめでとう

寿
「日當 氏名
窪田 慎吾
春菜
日當 出身地
人吉市

ご結婚おめでとう

戸籍の窓

9月届出分
(敬称略)

編集後記

▼全国で猛威を振るっているインフルエンザですが、村内においても、学級閉鎖など影響があるようです。そのようなことから、役場では、先週より全職員マスク使用が義務づけられました。

このような事態は初めてですが、とにかく予防が大事です。手洗いうがいにはもちろんのこと、家族でも注意したいと思います。これから、まだまだ寒くなりますので、皆さんも予防に努めましょう。

▼先に行われた「ふれあいまつり」は、皆様のおかげで大盛会のうちに終了いたしました。なかでも、三田明歌謡ショーには、多くの方のご来場があり、また、この日の朝早くから、追っかけという女性の方々も来られて大いに賑わいましたね。

私は、二日間カメラを二台首に掛け、あっちこっち走り回ったり、最前線でカメラを向けてたりして大きな体で迷惑を掛けたことと思います。

今からが、祭りシーズンです。飲みすぎず、食べすぎず、体調管理には注意していきたいと思います。

(松 祐)